



さて、ようやくお送りしたこちらの様子ですが、改めて同送した一枚目を読み直してみると、暗い話題ばかりで、海外に派遣されても楽しいことは一つもないんじゃないかな、と思われそうなので、ロンドンでの生活面についてもご紹介をします。「裏”マキシマム ザ ロンドン」として、お楽しみください。

イギリス生活における経済事情

ロンドン日本人学校の職員には、北海道から沖縄までの、30～50代の男女、独身、配偶者のいる方いない方、多様な方がいらっしゃいます（ちなみに私は最年長ではありません）。2年で帰国される方が多いようです。そもそもビザが2年単位であることや、為替レートの関連から、経済的に厳しいことも要因です。

ちなみにパブで飲むビール一杯は約7£、日本米は10kg 40£、あの悪名高きフィッシュアンドチップスが15£、MarugameUdon（あの丸亀製麺です）でうどん2杯が26£といった具合です。ちなみに現在1ポンド=195円です。いちいち日本円に直して換算なんかしていると、とてもではありませんが外食はできません。家賃は手当でなんとか充当できていますが、お子さんのいる家庭だと、学費が家計をさらに圧迫します。贅沢は敵なのです。しかしながら、「イモとパスタを食べときやいいんですよ。」という事務局の方の助言（名言？）のとおり、パスタは日本と同じ袋に入ったものが50円くらい、じゃがいもも半値くらいと、庶民の味方もそれなりにあります。結局は暮らし方ですかね。



イギリスにおけるパブ文化

ロンドンに来て、大人のお楽しみといえばパブでしょうか。正式名称を「パブリックバー」というとおり、社交場としての役割が大きいです。どこの小さな町にもあり、週末などには、多くの人がサッカーをライブで見ながら盛り上がっています。基本的に朝から開いているので、ふらっと立ち寄り→カウンターで注文→適当な場所（モニター前、テラスなど）で飲んだり食べたり、といった感じです。朝や昼は赤ちゃんや子供連れも少なくありません。日本人学校の飲み会も、パブが会場になります。日本と大きく違うのは、ドリンクは各自がカウンターで注文→支払い→受け取りなので、飲みたくないビールを無理やり進められることも、（私はよくわかりませんが）嫌いな上司にビールを注ぎにいく必要もありません。

右の写真は、サッカーのヨーロッパ選手権の準決勝でイングランドが勝ったときのものです。学校の運動会の打ち上げの宴会中でしたが、そっちのけです。



とりあえずスポーツ観戦

イギリスといえばまずはフットボール。プレミアリーグと呼ばれる、いわゆる一部リーグだけではなく、二部リーグの試合でも、地元のチームを応援する人たちでスタジアムは一杯です。私の住んでいるところからは、二部リーグのQPRというチームが一番近いので応援しようと思っていたら、現在最下位です・・・。同僚に誘われて、現在はチケットの取りやすいトッテナムというプレミアリーグのチームを応援しています。

また、ラグビーもイギリス発祥です。私はラグビーが大好きなので、11月のイングランド vs 日本戦も喜んで行きましたが・・・、日本は大敗で、となりに座っていたイングランドの帽子をかぶったおじいさんに慰められる始末でした・・・。私の応援するチームって・・・。